

1.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 高齢者福祉課長 稲田 勝 電話番号 0852-22-5236

事務事業の名称	介護保険制度施行支援事業	
目的	(1) 対象	高齢者（要介護者）
	(2) 意図	適切な介護保険サービスが受けられるようにする。
事業概要	適正な介護保険サービスが受けられるようにするため、介護保険サービス事業者や介護職員等に対して次のような事業を行う。 ・介護保険指定事業者指導監督事業 ・指定事業者指定・管理事業 ・苦情処理体制整備事業 ・介護保険審査会運営事業 ・介護保険市町村指導事業 ・認定調査員等研修事業 ・外部評価評価調査員研修事業 ・介護人材確保対策事業 ・老人福祉施設整備事業 ・介護サービス提供支援事業 ・老人保健施設整備資金借入金利子補給事業	

2.成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 特別養護老人ホームの待機者数	目標値	5,520.0	5,440.0	5,360.0	5,280.0	5,200.0	人
		取組目標値	4,917.0	4,700.0	4,500.0	4,300.0	4,100.0	
	式・定義 自宅から特別養護老人ホームへの入所申込者数の実態調査結果	実績値	4,917.0					%
		達成率	100.0					
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3.事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	66,459	456,122
うち一般財源 (千円)	18,613	55,908

4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

①介護給付費（決算額） H20：56,027百万円 → H27：75,699百万円
 ②要介護・要支援認定者数及び高齢者人口に占める割合（各年10月末時点）
 H20：39,134(19.0%) → H27：47,044(21.1%)
 ③後期高齢化率(75歳以上人口の割合) H22：16.2% → H27：17.6%
 ④特別養護老人ホーム待機者数 H22年7月：6,232人 → H27年1月：4,917人

6.成果があったこと（改善されたこと）

特別養護老人ホームの待機者数が減少した。

7.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
 特別養護老人ホーム待機者数は減少しているが、ゼロではない。

②困っている状況が発生している「原因」
 市町村（保険者）の介護保険事業計画が計画どおり進んでいないか、実態と合わない状況となっている。

③原因を解消するための「課題」
 市町村（保険者）の計画が着実に進むよう支援するとともに、必要な介護保険サービスが適切に提供されるよう事業者に対する指導等を行う。

8.今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

平成27年度から始まった第6期介護保険事業支援計画に基づき、①財政的支援、②住まいの確保、③住み慣れた地域で自立した日常生活ができる地域包括ケアシステムの構築に取り組む。

9.追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。